

令和3年度 第2回 庄内PJ 緩和ケアを学ぼう会アンケート 結果

- ◆ 日 時

令和3年10月4日（水） 18：30～20：00
- ◆ 開催方法

オンライン配信（Zoom）
- ◆ 参加人数

88名
- ◆ アンケート協力者数

58名

1. 事例・取り組み紹介

- ・「見送る人に寄り添いながら支援した事例」

指定居宅介護支援事業所 澄花 主任介護支援専門員 平野 静香 氏
- ・「転移性脳腫瘍により在宅介護が必要となった症例

～リハビリテーションを通しての気付きと、学んだこと～

鶴岡市立荘内病院 リハビリテーションセンター 理学療法士 五十嵐 健文 氏

2. 講義

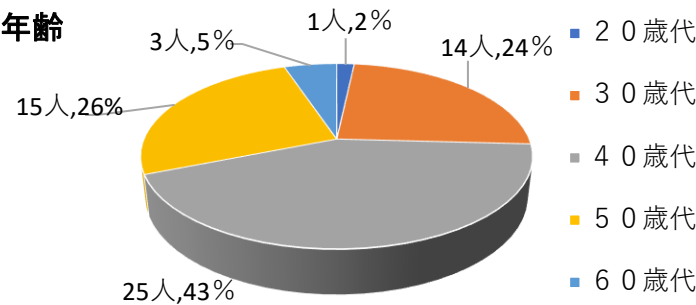
- ・「みんなで取り組むスピリチュアルケア」

鶴岡市立荘内病院 内科医長・緩和ケアチーム医師 和泉 典子 氏

【年 齢】

20歳代	1
30歳代	14
40歳代	25
50歳代	15
60歳代	3
	58

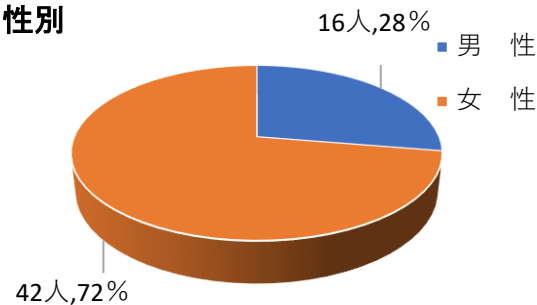
年齢



【性 別】

男 性	16
女 性	42
	58

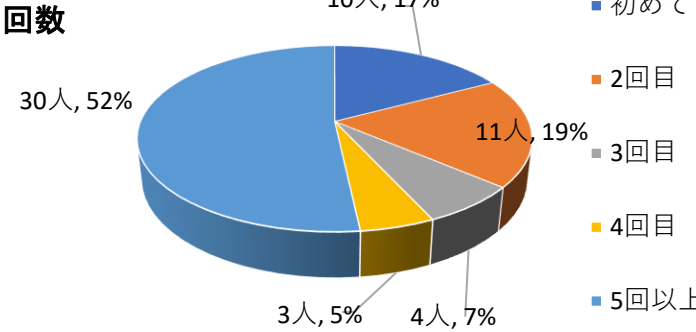
性別



【参加回数】

初めて	10
2回目	11
3回目	4
4回目	3
5回以上	30
	58

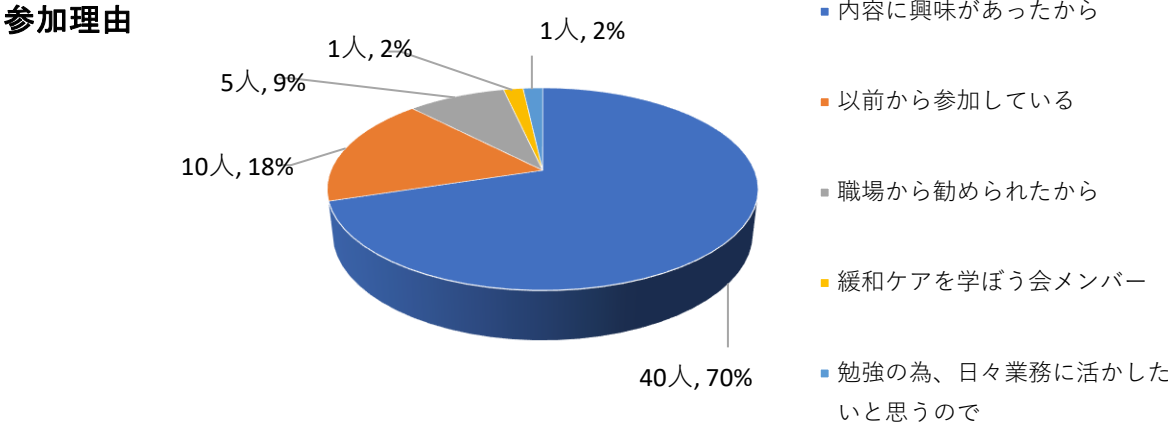
回数



【参加理由】

内容に興味があったから	40
以前から参加している	10
職場から勧められたから	5
緩和ケアを学ぼう会メンバー	1
勉強の為日々業務に活かしたいと思う	1
	57

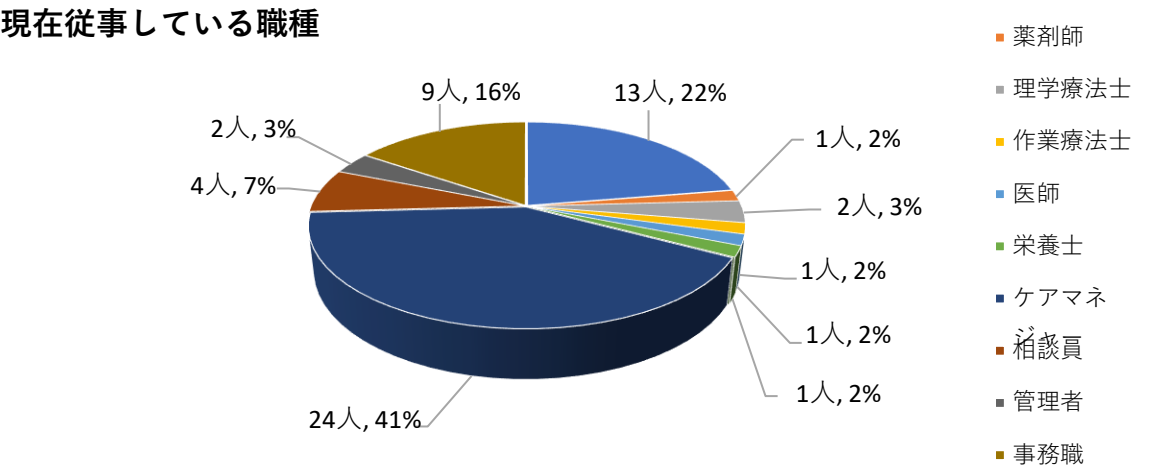
参加理由



【職 種】

看 護 師	13	栄養士	1
薬剤師	1	ケアマネジャー	24
理学療法士	2	相談員(社会福祉士)	4
作業療法士	1	管理者	2
医師	1	事務職	9
			58

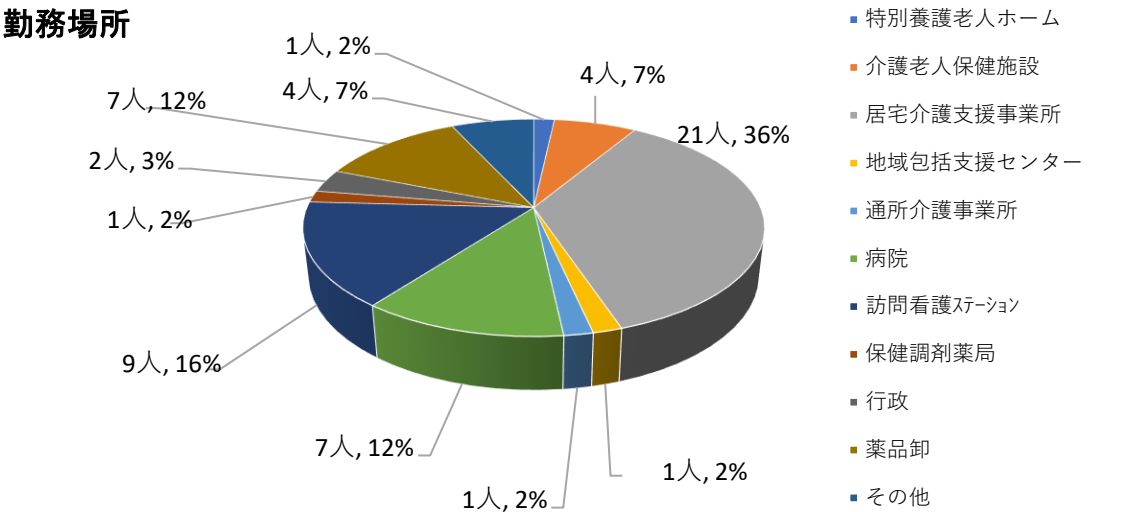
現在従事している職種



【勤務場所】

特別養護老人ホーム	1	通所介護事業所	1
介護老人保健施設	4	短期入所	5
グループホーム	3	小規模多機能	1
有料老人ホーム	12	病院	7
居宅介護支援事業所	21	診 療 所	1
地域包括支援センター	1	訪問看護ステーション	9
訪問介護事業所	1	保健調剤薬局	1
訪問入浴事業所	0	行政	2
薬品卸	7	その他	4
			58

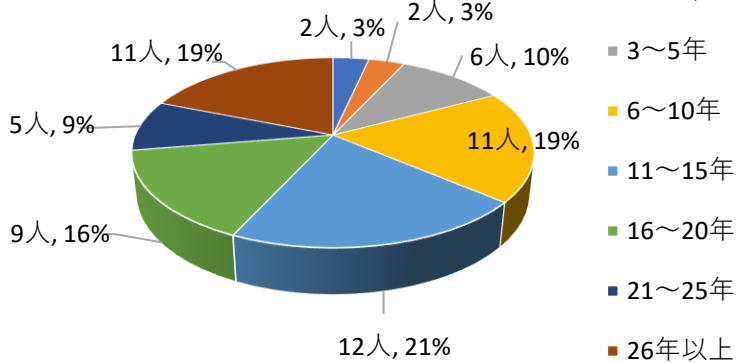
勤務場所



【現在の職業の経験年数】

1年未満	2
1-2年	2
3-5年	6
6-10年	11
11-15年	12
16-20年	9
21-25年	5
26年以上	11
	58

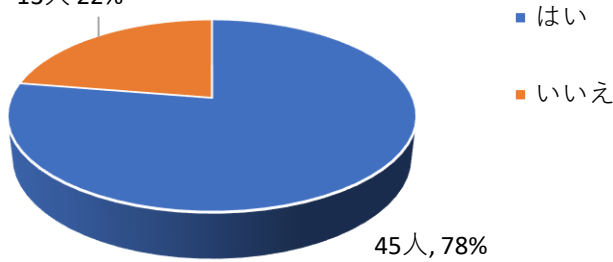
現在の職業の経験年数



【職場で看取りに関わった経験はありますか】

はい	45
いいえ	13
	58

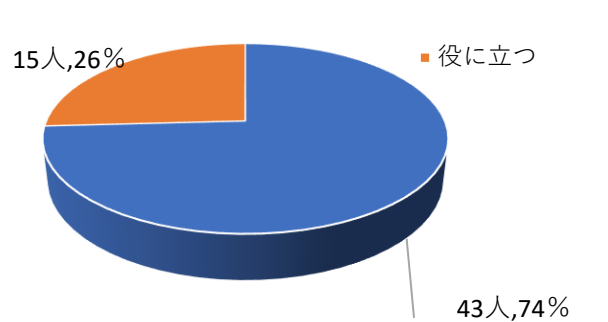
今まで看取りにかかわったことはありますか



【この研修会は全体的に役に立ちましたか】

とても役に立つ	43
役に立つ	15
	58

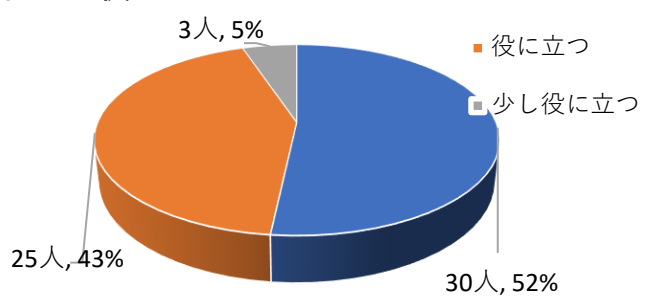
全体的に役に立ちましたか



【事例1は役に立ちましたか】

とても役に立つ	30
役に立つ	25
少し役に立つ	3
	58

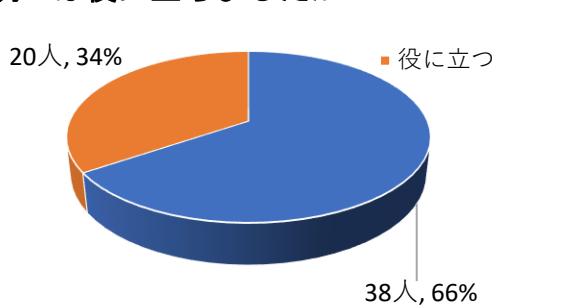
事例 1 は役に立ちましたか



【事例2 は役に立ちましたか】

とても役に立つ	38
役に立つ	20
	58

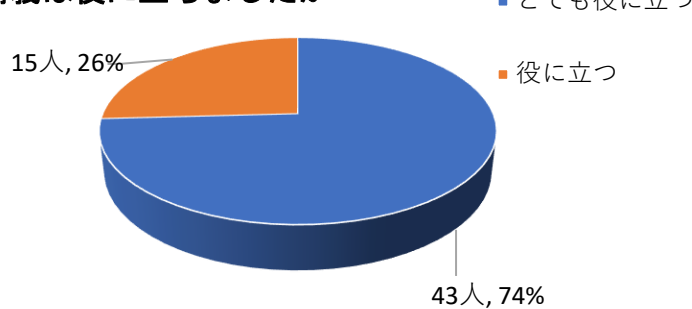
事例 2 は役に立ちましたか



【講義は役に立ちましたか】

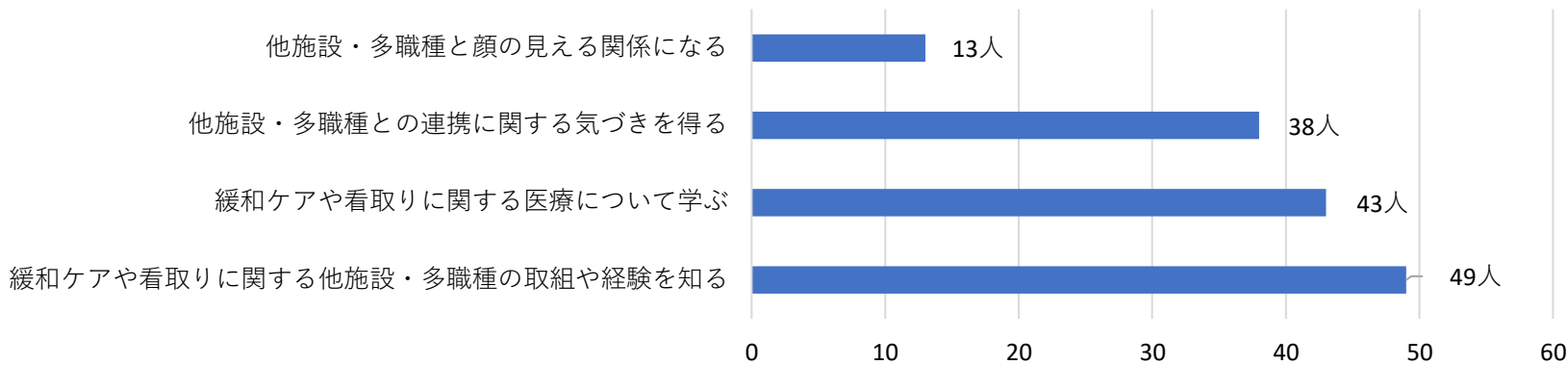
とても役に立つ	43
役に立つ	15
	58

講義は役に立ちましたか



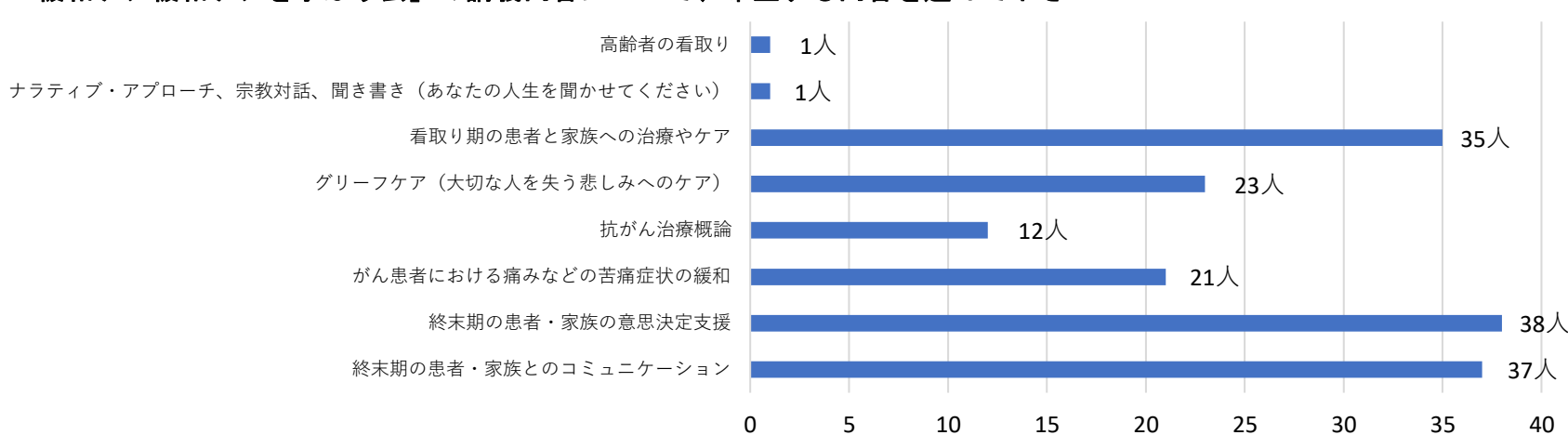
【「緩和ケアを学ぼう会」は、あなたにとってどのように役立つと思いますか。（複数回答可）】

「緩和ケアを学ぼう会」はあなたにとってどのように役立つと思いますか



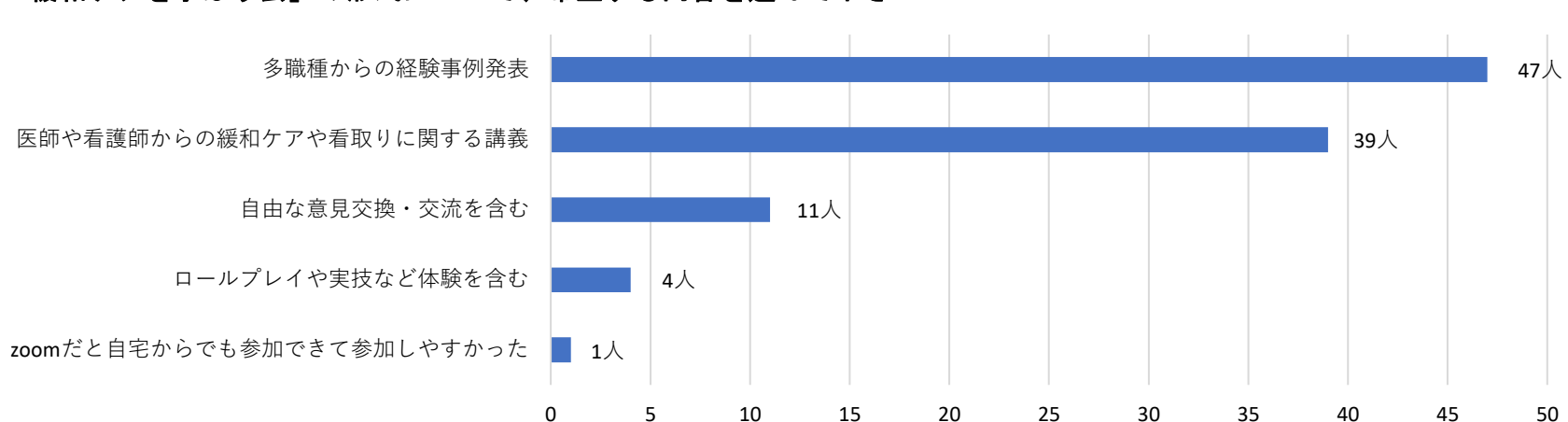
【「緩和ケアを学ぼう会」の講義内容について、希望する内容を選んでください。（複数回答可）】

「緩和ケア緩和ケアを学ぼう会」の講義内容について、希望する内容を選んで下さい



【「緩和ケアを学ぼう会」の形式について、希望する内容を選んでください（複数回答可）】

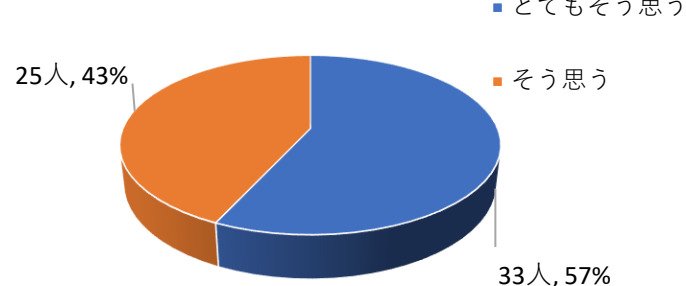
「緩和ケアを学ぼう会」の形式について、希望する内容を選んで下さい



【今後も参加したいと思いますか】

とてもそう思う	33
そう思う	25
	58

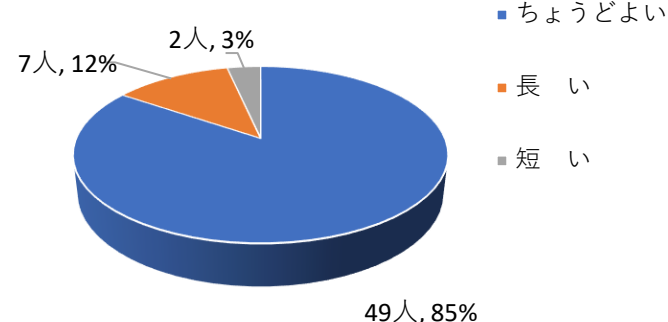
今後も参加したいと思いますか



【この会の時間の長さはいかがですか】

ちょうどよい	49
長い	7
短い	2
	58

この会の時間の長さはどう思いますか



「緩和ケアを学ぼう会」に参加した感想をお聞かせください。



声掛けの方法や心がけ等を知り、振り返れた。今後に活かしたい

自分も悩む事が多く、ご本人やご家族に対し、どのように声掛けしてよいかいつも悩んでいました。今回の研修に参加させていただき、今後に生かせると思います。勉強させていただき、ありがとうございました。

各施設、職種の方がどんな関わりをしているか、悩みも共有できて大変良かったです。また共に学びたいと思います。

緩和ケアに関わる機会は多くないと思うが実際に関わるようになった時、どのように支援をしていけばよいのか不安になると思います。本人・家族が納得する支援ができるか不安はあるし、自信はないが今回学んだ事を活かし相手を知る事や相手が望むことを少しでもかなえられる支援ができればと思いました。

スピリチュアルケアについて詳しく学ぶことができ、大変有意義な研修でした。今後、もっと理解を深めて実践できるようにしていきたいと思いました。ありがとうございました。

2つの事例紹介についても共感できる内容がありました。五十嵐様の「沈黙・・・」本当に辛いと思います。何か話しをしなければと思うと沈黙が長引いてしまったり、気に障るようなことのないようにと思うと更に詰まったりします。しかし「沈黙」が整理する時間ということ大変勉強になりました。また、和泉先生の講義を聞いているとき、自然と涙が出てきてしまいました。色々貴重なお話勉強になりました。ありがとうございました。

とても、勉強になり有り難いと感じております。少しでも苦痛の緩和が図られたらと思います。実際に携わっているので何らかの形で役に立てられるように今日の学びを活かしていきたいです。ありがとうございました。

とても良い内容でした。事例1や質問されている方の声が聞き取りにくかったのが残念でした。

会を重ねる毎にリモート講演の質(音響、進行など)が上がっており全くストレス無く聴講する事が出来ております。ありがとうございます。

貴重なお話ありがとうございました。参考にさせていただきたいです。

以前の職場で、ターミナルの看取りを何度も経験し、自分自身もどのように支援し相手の気持ちを受け入れてどのように接していけばわからないことが多く、同様の本を購入し実践に活かしたことがありました。今回の研修で「あっ」そうだよねと気づかせてもらった部分が多くありました。つらさをキャッチすることや自分の価値観を押し付けない。相手の気持ちを配慮するなどとても勉強になりました。事例提供者の方、和泉先生お疲れ様でした。ありがとうございました。

平野さん、五十嵐さん、和泉先生本当にお疲れ様でした。とても良い、参考になる事例紹介およびスピリチュアルケアの講義ありがとうございました。現場の最前線で頑張っておられ、これだけ重い経験を通して成長される姿（上から目線ですみません）が、自分もその事例に関わったかのような感動さえ覚えました。和泉先生の講義も相変わらずわかりやすく沢山の言葉を伝えて頂きました。「わたしたちができること」を改めて考えさせられました。鶴岡の専門職の皆さまはやっぱりすごいな～。この地で関わること嬉しいですね。参加者全員のお顔が最後まで拝見できなかったこと、これだけは残念でなりませんでした。地域の中でオンラインの環境はだいぶ整ってきたはずですが、でもカメラはまだなのか……。次回からはカメラ必須としても良いのかも？

今回の内容が今抱えている患者さんの内容とマッチしてとても参考になりました。和泉先生のわかりやすい講義内容に感謝いたします。

質疑応答、意見交換の時間がもう少し欲しいです

看取りを経験すればするほど、声かけ、関わり方の難しさを痛感します。今回の研修会で、具体的にスピリチュアルケアを学ぶことができ、その方の希望と現実のギャップを狭め、苦しみを緩和できるよう実践していきたいと思います。

自宅にネット環境がないため、参加するのが難しい。職場で整えてくれたため参加する事ができました。これからはzoomが主だと思います。参加が難しくなると感じています。内容はとても参考になりました。ありがとうございました。

看取り期に支援をする際に、いつも、これで良いのかと本当に悩みます。今日の発表にもあったように、1人で悩まずに同僚や他の専門職、先生に相談しようと思いました。

スピリチュアルセルフケアの意味合いもあり、とても身に沁みる講義でした。ありがとうございました。

運営側も参加者側もオンラインでの講習に慣れてきたのか、全体的にスムーズで良かったと思います。事例発表も講義も、とてもためになりました。ありがとうございました。

今後も継続して開催できることを望みます。

当事者に寄り添う際は自分の思い込みで会話せずに患者さんの自律を大事にする事が参考になりました。

初めて参加させて頂きましたが、とても勉強になりました。私の妻の母親も今後緩和ケアが必要になってきます。自分自身の家族に置き換えて話を聞かせて頂きました。あの講演会の後、すぐに学んだ事を妻に伝え、今後家族としての向き合い方について話合えました。貴重な講演会をありがとうございました。

看取りに関わる職種の方々がどういった方とどのように接しているのか、どう考えているのか生の声が聞けてとても勉強になりました。また、和泉先生の講義で時折挟まれる実体験のお話は心に刺さる物が多く、特に関係的苦痛のお話であった『一緒に食事をしているのに自分の死を考えると孤独に感じる』という話を聞いて、亡くなった祖父が食事中に急に泣き出すことがよくあることを思い出しました。意志疎通もままならず、嬉しさで涙しているのかなと考えていましたが、本当は寂しさから来た涙だったのかなと色々考えてしまいました。自分の先入観を一度切り離して相手の話を聞くことは、看取りの現場以外でも大切なことだと思いますので、今後の人との関係に活かしていきたいと思います。

反復、共感、理解について学ぶことができ身につけられるようにしたいと思った。発表者、準備に関わった方々ありがとうございました。

とても良い内容で勉強になりました。

参加させていただきありがとうございました。皆様の経験や取り組みをお聞きすることで、自分が携わることになった時にどう寄り添い支援が出来るのか考えさせられました。和泉先生のお話の中での、“セルフケアタイムの取り組み”がとても良いなと思いました。

とても参考になりましたが、実際に自施設でどう取り組めるのか考えさせられました。人員不足、職員教育、課題がさまざまあります。

自分の関わりを振り返る機会になり、とても勉強になりました。

色々な施設や在宅サービス関係者がどのようなに関わってくれているのかを知ることが出来てよかった

和泉先生の講義に聞き入ってしまいました。とても参考になりました。ありがとうございました。

和泉先生のお話が分かりやすく、経験されたことを気持ちの上で私も疑似体験したような感覚になりとても考えさせられました。リハビリスタッフも一丸となってチームで関わっていて連携の取り方を学ぶことができました。

ご協力いただきありがとうございました